

環境に配慮した取り組み

～名古屋市内で初めての地域協働による郷土種の植樹活動について～

NEXCO中日本の経営施策である「地域連携や環境・持続可能社会への貢献の推進」の取り組みの一環として「生態系保全」「地域性苗木育成」の技術を高速道路以外でも活かす活動を、名古屋市とNPOなどの方々と協議会を設立し、2009年5月から名古屋市内の公園などで自生する樹木の種や枝から地域性苗木を育て、名古屋市内の緑地に植樹し、郷土種保全に努める活動を進めています。

今回は、2009年11月に「なごや東山の森」や「八竜緑地」で市民の方々と採取した種を、当社で育成し苗木が順調に育ったことから、高速道路以外で初めて植樹を行なうことになりました。

植樹は、COP10関連事業でもあるなごや西の森づくり「第10回植樹祭」(主催 名古屋市など)に併せて、近くの幼稚園児や名古屋市民、協議会の方々と行ないます。

[開催日時・場所]

2010年10月24日(日) 13:00～14:00

戸田川緑地中央地区「郷土(ふるさと)の森」エリア(国道1号線南側)



種取り状況



植栽予定の苗木



植樹イメージ

【COP10関連イベント】

COP10にあわせて開催されている「生物多様性交流フェア」(主催:支援実行委員会)白鳥地区会場で、当社の「高速道路での生物多様性への取り組み内容」をご紹介します。会場にお越しの際は是非当社ブース(エキスポゾーン76番)にもお立ち寄りください。



白鳥地区会場状況



NEXCO 中日本出展ブース状況

